

新たな地域おこし協力隊員が着任しました

4月1日付で新たな地域おこし協力隊員が2名着任しました。後藤富美夫副町長より任用通知が交付され、それぞれのフィールドで活動をスタートさせています。

これにより、今年度町で活動する隊員は過去最大の4名となります。

それぞれ活動する隊員を町内で見かけた際には、ぜひ気軽にお声がけください。



たしろ としゆき
田代 俊之 隊員

出身地：神奈川県藤沢市

活動内容：近代化産業遺産を活用した観光を復活・再生に導く「明治百年プロデューサー」

担当より：スペインで文化遺産を学んだ経験もある田代さん。町が誇る近代化産業遺産へぜひその経験を活かしながら、新たな切り口を見出し、活動してほしいです。



さいとう やすあき
齋藤 慶顕 隊員

出身地：秋田県大館市

活動内容：ブドウ栽培や小坂七滝ワイナリーでの作業「グリーンツーリズムの推進」

担当より：幼少期は大館市で育ち、これまで都内を拠点に経験を積んできた齋藤さん。生まれ育った秋田にそれを還元したいという想いをぜひ活動を通して形にしてほしいです。

地域おこし協力隊

リレーコラム



いしばし たつや
石橋 辰耶 隊員 令和6年9月着任

活動内容：グリーンツーリズムの推進

今回初のコラムということで簡単に自己紹介と、小坂町に来て7ヶ月ほどになりますが、実際に生活をしてみての印象などを書きたいと思います。

私は千葉県出身で育ちも関東なので、東北に住んだのは初めてです。着任した頃は雪国での生活のイメージが一切できませんでした。11月に雪が降り始め、12月以降はとにかく雪がたくさん降ったという印象でした。小坂町は雪国であるということは理解しているつもりでしたが、想定している3倍くらい積雪があったと感じました。

初めての雪道での運転や、雪かきなど、雪との付き合い方をこの冬で学ぶことができました。車がスリップする経験や毎日雪かきをすることは、関東では味わうことはないので、良くも悪くもいい経験でした。

小坂町には関東にはない涼やかな環境や豊かな自然があります。関東の夏に避暑していた私にとっては、とても過ごしやすい環境だと感じています。

そして、初めての冬を乗り越えたので、ここからとても楽しい季節を迎えます。まだ小坂町に来てから一年経っていませんので、四季の移ろいや地域のイベントなどを通して、様々な経験を楽しんでいきたいと思っています。